

近現代文学特論ⅡA

選択 2単位

萩原 由加里

1. 授業の概要(ねらい)

この演習では、マンガ・アニメーションを始めとする現代日本の視聴覚文化に関する先行研究を参考に、学術的にこれらの分野を分析していくための方法を身につけていくことを目指す。

受講生は、各自が興味を持ったテーマを設定し、配布資料やPPTによるスライドを用意して授業内で発表を行ってもらう。また、出席者全員が参加して、発表に対する質疑応答という形でディスカッションを行う。

なお、受講生は春期の間に最低でも1回は発表を行うことが求められる。

2. 授業の到達目標

- ・自分で研究テーマを設定する
- ・発表に必要な先行研究や資料を集めて、分析する能力を身につける
- ・発表の際に作成する配布資料やPPTのスライドは、どのように作成すれば相手に内容が分かりやすいのかを考える能力を身につける
- ・他人の発表に対して関心を持ち、質問という形で自らの知識や思考能力を深める
- ・身近な作品の分析を通して、あらゆるものに対して疑問を抱き、思考する能力を身につける

3. 成績評価の方法および基準

発表と期末レポート:80%、平常点(授業中のディスカッションへの参加度):20%

4. 教科書・参考文献

参考文献

山田奨治・編著 『マンガ・アニメで論文・レポートを書く 「好き」を学問にする方法』(2017) ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

- ・発表に向けての準備(テーマの設定、先行研究や資料・データの収集、配布資料の作成)
- ・自身だけでなく、他の発表者の研究内容についても関心を持ち、事前に情報を収集しておく

6. その他履修上の注意事項

欠席する際は、担当者宛に必ずメールで欠席連絡を入れること。

7. 授業内容

- 【第1回】 (オンライン回)発表順の確定と、春期の個別報告での目標について
- 【第2回】 受講生同士の自己紹介、レジュメやレポートの書式に関するレクチャー
- 【第3回】 卒業論文の執筆を予定している4年生の個別報告と質疑応答
- 【第4回】 卒業論文の執筆を予定している4年生の個別報告と質疑応答
- 【第5回】 4年生による個別報告と質疑応答
- 【第6回】 4年生による個別報告と質疑応答
- 【第7回】 4年生による個別報告と質疑応答
- 【第8回】 4年生による報告の振り返り
- 【第9回】 3年生による個別報告と質疑応答
- 【第10回】 3年生による個別報告と質疑応答
- 【第11回】 3年生による個別報告と質疑応答
- 【第12回】 3年生による個別報告と質疑応答
- 【第13回】 3年生による個別報告と質疑応答
- 【第14回】 3年生による報告の振り返り
- 【第15回】 (オンライン回)秋期に向けての研究指導